

適正な水管理・防除で、うまくてきれいな米づくり！

1. ゆめみづほの出穂時期は平年並～2日程度早くなる予想です。

草丈は平年よりも長く、茎数・葉数の展開も平年並～やや多くなっています。
概ね順調な初期生育が確認されておりますので、今後も生育に応じた水管理を実施しましょう。

◎早生の出穂期予想 (6月8日時点。平年出穂期 7月18日)

| 品 種 名 | 幼穂形成期 (-25) | 減数分裂期 (-15~-5) | 予 想 出 穂 期 |
|-------|-------------|----------------|-----------|
| ゆめみづほ | 6月21日～23日 | 7月1日～13日 | 7月16日～18日 |

<注意>・气象台から今後発表される予報により、出穂期は前後する可能性があります。
・減数分裂期は低温に最も弱い時期です。17℃以下の低温時は深水にしてください。

2. 中干しを継続し、無効分けつを抑えよう！

◎中干し実施期間：早生は6月25日頃まで、コシヒカリ・ひやくまん穀は7月5日頃まで実施して下さい。

◎中干し後の水管理：常に足跡に水があり、田面が湿った状態を保つ。収穫5日前まで飽水管理を継続！！
砂壤土田など水持ちの不良な田では、十分に湛水→自然落水→湛水→・・・を繰り返す水管理を実施して下さい。

◎フェーン対策：なるべく前日のうちに入水し、稲の消耗を回避して下さい。

3. 6月10日(土)～6月25日(日)は一斉除草期間とし、集落ぐるみで草刈を！

集落ぐるみで農道、畦畔の草刈を実施し、雑草地のカメムシ密度を低下させる。
遅くとも7月上旬までに除草を実施して下さい。

*水田畦畔や農道等で刈り倒した雑草が、風や降雨により用排水路や河川に流れ込まないように留意！

4. 病害虫の適期防除に努めよう！粒剤は散布後7日間の止め水とする！

| 病 害 名 | 薬 剤 名 | 10a 当たり散布量 | 散布上の留意点 |
|---------------|----------|------------|----------------------------------|
| いもち病 (発生時) | ブラシン粉剤DL | 4 kg | 発生が確認されたらただちに散布する。 |
| 紋枯病(常発地) | リンバー粒剤 | 3～4 kg | 7月5日までに散布する。 前年発生があった圃場も散布する。 |

*補植用の苗は葉いもちの発生源になるため、早急に除去すること。

5. 雑草が目立つ圃場では中後期除草剤を散布！

気温が高くなると雑草の成長スピードも早くなっていきます。雑草が気になる圃場では葉齢が進む前に中後期除草剤を散布し、雑草密度の低減を図りましょう。※中干し期間中に除草剤散布のため一時的に入水しても中干し効果は得られません。

| 処理場面 | 薬剤名 | 使用時期 | 10a 当たり 使用量 | 散布方法・注意事項 |
|----------------|-------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------|
| ノビエが 目立つとき | ヒエクリーン1キロ粒剤 | 移植後15日～ノビエ4葉期 (但し、収穫45日前まで) | 1kg | ・湛水散布又は無人航空機 |
| | クリンチャーEW | 移植後20日～ノビエ6葉期 (但し、収穫30日前まで) | 100ml 水25～100 ^{リットル} | ・落水散布 ※展着剤加用 |
| 広葉雑草が 目立つとき | バサグラン粒剤 | 移植後15日～55日 (但し、収穫60日前まで) | 3～4kg | ・落水散布 |
| ノビエ・広葉 同時除草 | アトトリ1キロ粒剤 | 移植後14日～ノビエ4葉期 (但し、収穫45日前まで) | 1kg | ・湛水散布又は無人航空機 ・1回以内 |

<穂肥診断のポイント>

(1) 幼穂長から施用時期（基準日）を推定する。

穂肥施用日推定の目安

| 幼穂長 (mm) | 出穂前日数 | ゆめみづほ | コシヒカリ・五百万石 |
|----------|-------|-----------------|-----------------|
| | | 穂肥施用の推定日 | 穂肥施用の推定日 |
| 0.5 | -26日 | 3日後 | 8日後 |
| 1~2 | -23日 | 今日 (基準日) | 5日後 |
| 2~3 | -20日 | ただちに | 2日後 |
| 10~15 | -18日 | ただちに | 今日 (基準日) |

(2) 生育量と葉色で、第1回目の実際の施用時期、施用量を決める。

| 生育量の目安 | 葉色 | 施用日 | 施用量 |
|------------------------|-----|---------|-------|
| 条間の田面が奥まで見える。 | うすい | 1~2日早める | やや多く |
| | 4.0 | 基準日 | やや多く |
| | 濃い | 基準日 | 基準量 |
| 条間の田面が手前20~30mくらいまで見える | うすい | 基準日 | やや多く |
| | 4.0 | 基準日 | 基準量 |
| | 濃い | 基準日 | やや少なく |
| 条間の田面が見えない。 | うすい | 基準日 | 基準量 |
| | 4.0 | 基準日 | やや少なく |
| | 濃い | 基準日 | 少なく |

【第1回穂肥施用時期の目安（分施体系）】

| 品種名 | 幼穂長 | 基準葉色値 |
|-------|--------|-------|
| ゆめみづほ | 1~2 mm | 4.0 |

※圃場によって生育の差があるので、幼穂長を必ず確認してから施用すること。

◎施肥時期と施肥量

(単位: kg)

| 品種名 | 回数 | 施用時期 | 10a 当たり基準量 | | 施用上の留意点 (裏面参照) |
|-------|-----|-------------------------|----------------|----------------|--|
| | | | BBいしかわライイト 550 | BBいしかわ穂肥一発 055 | |
| ゆめみづほ | 第1回 | 6月23日~6月25日 (出穂前23日) | 17 | 27 | 下記の場合は施用量を減らす。 ①葉色が基準葉色値より濃く、出来過ぎで葉が乱れている場合 (40本/株以上の場合) ②天候不順が続くと思われる場合 ※ただし、2回目の穂肥は基準量を施用 |
| | 第2回 | 7月6日~7月8日 (出穂前10日) | 22 | - | |

※早生品種向け一発肥料の追加穂肥の散布について

◎上乗せ追肥実施

高温登熟が予想される場合、基肥一発肥料 (BB新早生一発くん) を使用した場合でも、上乗せ追肥を実施することにより、後期栄養凋落を防止し、品質・食味を維持しつつ、増収が期待できます。

※穂肥分を増量した基肥一発肥料 (BB早生一発くんDX28) は追加穂肥は不要です。

| 基肥一発肥料 | | | | 追加穂肥 | | | | | |
|------------|----|----|---|------------------------|----|---|----|-----------------|----------|
| 肥料名 | N | P | K | 肥料名 | N | P | K | 施肥量 (kg/10a) | 投入 N量 |
| BB 新早生一発くん | 24 | 15 | 8 | BB 有機入り いしかわライト 550 | 15 | 5 | 10 | 7 | 1 |

※出穂7日前 (7月9日~11日頃) までに施肥してください。